



足利・九条の会

「足利・九条の会」公式サイト

<http://www.ekip.net/9jo/>

2020. 5.23 32号

代表：采澤 tel:21-5797

担当：岩田 tel:43-0144

kyujomamoru@hotmail.co.jp

憲法九条を守り、私たちの生活を守りましょう
ご無沙汰しておりました！今回はみなさんの声をお届けします



「足利・九条の会」代表挨拶 采澤 良浩

数ヶ月前までは道行く人、買い物をする人、電車に乗る人々の大半がマスクを着用している姿など想像も出来ませんでした。

このような時こそ多くの方々が知恵を出し合い、力を合わせて乗り越えていかなければならぬと思います。

しかし、このような時を利用して緊急事態条項の速やかな発動には憲法9条を変えなければと一括りに思い込ませようとの動きもあります。

批判のための投票棄権や白票投票は第1党の思うつぼですので、よく考えて行動して下さい。

地獄の日々と、今と 岡田 千歳

うす暗がりの中で、目には見えないモノに脅かされて過ごす毎日。体調が悪くても医者に行くことも憚られて。一致団結して戦いましょうと煽られる。人々の優しさや善意は、権力に利用されたあげくふみ潰される。

大変なことは知らされず（いや、意図的に匿されて）盲従を強いられ、我慢・我慢の行く着く先は、沢山の別れ、餓え、そして死。

日本国憲法は、そんな地獄の日々を繰り返さない為に、人々の叡智と勇気で創り上げた日本人の宝ものです。日本人の誇りです。

日本国中で声を挙げている人々と共に、ねばり強く、胸を張って守り育てて行きます。

沖縄の民意 小林 啓二

戦後27年間、日本から切り離され米軍占領下に置かれ、民主主義も人権もない時代を生き抜いてきた沖縄の人々が求めたのは日本国憲法のもと基地のない平和な社会で暮らすこと。

しかし復帰後48年過ぎても何も変わらない。

私の思いは「辺野古に新しい軍事基地はいらない」「普天間は一刻も早く撤去返還」です。

政府は「辺野古唯一」を繰り返し沖縄の民意を踏みにじり続けている。

絶対に許さない！共に声を上げていきましょう。



国際平和への真のリーダーとして歩む 羽山 弘一

コロナ新ウィルスによる感染は世界中に広がり多大な被害をもたらした。満州生まれの私は一瞬、細菌爆弾を製造した731石井部隊を彷彿させられた。

我が国では感染の沈静化、復興のために、医療、防疫、補償、生活支援などの臨時予算を組みその大きな負債を後世に押し付けている。

一方で新ウィルスの蔓延は、各国が核兵器を軸に軍備の増強を続けている。その人間の愚かさを浮きたせた。

これから日本の日本は米国の核の傘にたよるのでなく平和を希求する憲法九条を盾にして、防災、防疫を含む日本独自の自衛権の確立を目指し、国際平和への真のリーダーとして歩む姿を後世に渡したい。

ちょと一息 嶋田 英紀

コロナ、コロナ、コロナさらに安倍を中心に自己中心で、保身ばかりを考えている政治家達 怒っても、怒っても どうにもならず 全く、どうなってるの？ こんな世の中だから笑って楽しく過ごす時間をもちましょう。

大人のおもしろ川柳

- ◎ この動悸 昔は恋で 今病気
- ◎ 万歩計 半分以上 探し物
- ◎ 忘れえぬ 人はいるけど 名を忘れ
- ◎ 厚化粧 笑う亭主は 薄毛症
- ◎ いびきより 静かな方が 気にかかる
- ◎ 土地もある 家もあるけど 居場所なし
- ◎ 起きたけど 寝るまで特に 用はなし
- ◎ 「アーンして」昔ラブラブ 今介護
- ◎ 誕生日 ローソク吹いて 立ちくらみ
- ◎ 腹八分 残りの二分で 薬のむ



日々考え続けなければ 山口 美枝子

コロナ報道ばかりだが、自粛中は置き去りにされた問題を考えるいい機会かもしれません。
◎「桜を見る会」では政治資金規正法、公職選挙法違反か？と言われていたこと。
◎沖縄では地元や国民の大反対を無視し、辺野古の軟弱地盤に無謀な杭打ち工事をしようとしていること。米軍からの発がん性消化剤流出事故も。
◎地球温暖化は待ったなし etc
そしてこの政権は「集団的自衛権」「明恵婦人は私人」など閣議決定してきたが、また突如1月に黒川検事長の定年延長を閣議決定した。私は「39年間維持されてきた政府解釈(1981年国会答弁)を今、変える理由を明確にして欲しい」と自民党本部に電話した。
私達はこれらのことを見失うようになるけど、日々考え続けなければならないと思います。

「コロナから見えた」 金子 武司

政府の初動のまづさ。クルーズ船で患者を増やし、船外拡大を招いた。検査や患者対応の施設を拡大せず、全国民へマスクを配布すると宣言（未だにマスクは届かない）。「大事な会議」に、かの人気大臣は欠席。「こうしてかつて日本は戦争に負けたんだ」と納得した。科学的根拠を重視せず、計画的に困難に取り組まず、人道的見地を無視して利益を優先し、眞実に目を向けずに都合のよい理屈に走る。率直に反省せず、詭弁を弄して国民を騙す。実態をさらした政府や政党に憲法九条を変える資格がないことが、よく見えた。

子ども食堂 関口 有子

先日、私たちの運営するこども食堂に市から1本の電話が入った。新型コロナで仕事が無くなり、今日食べるお米も十分に無いご家庭がある。こども食堂で食材を分けてもらえると聞いたが対応してもらえないだろうか？という問い合わせだった。スットクしていた食材を見繕い、その日のうちに届けた。昨年の台風災害以降、こういう問い合わせが増えつつある。そんな状況に、私たちはフードバンクの必要性を感じ、設立準備を進めている。行政による生活支援金などは、支給までに時間がかかる。支援を待つ間の食を支える事ができればと考えている。

フードバンクについてのお問合せは foodbank.ashikaga@gmail.com まで。

